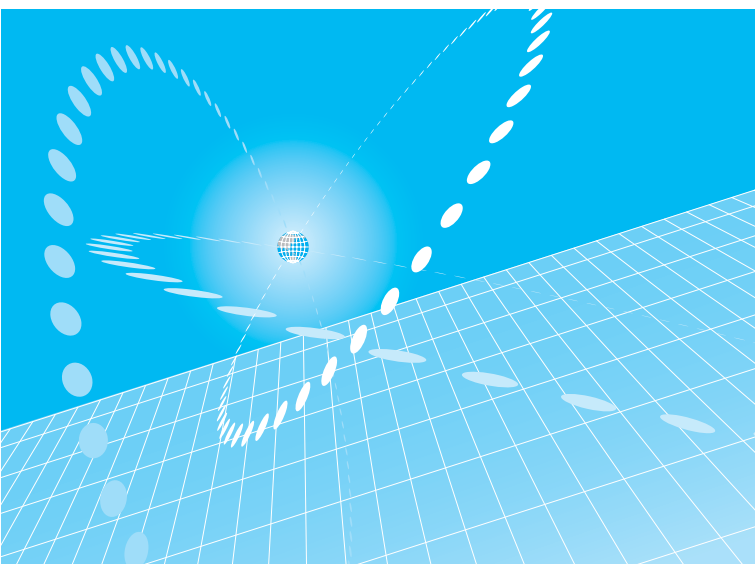


第51期

中間事業報告書

平成16年1月1日～平成16年6月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成16年6月30日をもちまして第51期の中間期を終了いたしましたので、ここに営業の概況につきましてご報告申し上げます。

(1) 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、好調な輸出や企業の業績改善を背景とした設備投資の回復に加え、個人消費も緩やかではありますが改善の動きを見せるなど、景気は概ね堅調に推移してまいりました。

このような状況の中、当社におきましては、従来販路の拡充はもとより、ハウスメーカーや地場工務店などの新築ルート開拓やOEM商品の拡販強化、さらには、特約店の実需支援と住宅設備機器の総合メーカーとしての知名度アップを目的として、TVコマーシャルの追加や各地での「暮らしの新品フェスタ」の開催、特約店の技術力向上や後継者の育成を目的とした講習会の開催など、積極的な営業活動を行ってまいりました。

研究開発部門では、自然冷媒給湯器「長府エコキュート」の大容量貯湯ユニットの開発、前面パネルのデザインを一新し、空気清浄機能などを備えた新型エアコンの開発、ミストサウナの機能がついた浴室暖房乾燥機や環境にやさしい高効率給湯器の開発など、環境規制と市場ニーズに対応した製品開発を行ってまいりました。

一方生産・購買部門におきましても、製造工程の見直しによる生産性の向上や、諸資材の海外調達拡大など、最重要課題であるコストダウンの推進に積極的に取り組んでまいりました。

製品別に見ますと、給湯関連機器は、住宅着工件数の低迷が続く中、石油給湯器の減少はありましたが、エコキュート、コ・ジェネレーションの大幅増が影響し、全体で6.5%の増加となりました。空調関連機器につきましては、エアコンでは、国内の販売不振と価格低下によるマイナス要因はありましたものの、海外からの引き合いが好調でありましたことから4.1%の増加となりました。システム関連機器につきましては、システムバス、システムキッチンで増加となりましたが、人造大理石浴槽などの単品浴槽の減少が影響し0.1%の減少となりました。ソーラー関連機器では、国の補助金制度のある太陽光発電が順調に売上を伸ばした反面、従来からある太陽熱温水器の減少が影響し0.9%の減少となりました。

その他では、関連部品の売上増により11.3%の増加となりました。

この結果、売上高は203億71百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、利益面につきましては、全社をあげてコスト削減に取り組んでまいりましたが、退職給付費用の増加や原材料価格の上昇等で、営業利益は16億92百万円（前年同期比12.3%減）、経常利益は22億32百万円（前年同期比9.3%減）となりました。また、中間純利益は前期のような株式の評価損も発生せず13億60百万円（前年同期比3.6%増）とわずかながら前年同期を上回る結果となりました。

（2）通期の見通し

今後のわが国経済は、米国やアジア経済の好調を背景として、緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、原材料価格の高騰や金利上昇懸念など先行き不透明な要因もあり、楽観できない状況が続くものと思われま

す。このような経営環境の中当社といたしましては、引き続き「顧客満足の向上」と「市場クレームの撲滅」に努め、営業部門におきましては、各地での新商品フェスタや技術講習会の開催など、地域に密着したきめの細かい営業活動を行うとともに、地場工務店などの新築ルート開拓や石油給湯機器のOEM供給によるマーケットシェアの拡大など販売ルートの強化拡充を行ってまいります。開発部門におきましても、環境規制への対応と「使い易さ」をテーマにした新製品の開発に取り組み、生産・購買部門におきましても、熾烈な価格競争の中で、徹底したコストダウンを図るなど、全社をあげて経営全般の合理化と業績の向上に努力する所存であります。

通期の業績につきましては、売上高は415億円（前年比5.1%増）、経常利益は46億円（前年比8.5%減）、当期利益は27億8千万円（前年比7.5%増）を見込んでおります。

株主の皆様には何卒、今後共一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年 8 月

代表取締役
社 長

川 上 康 男

貸借対照表

●平成16年6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	37,788	流 動 負 債	7,160
現金及び預金	13,083	支払手形	5
受取手形	385	買掛金	1,907
売掛金	4,123	未払金	63
有価証券	15,234	未払費用	729
製品	2,732	預り金	1,101
仕掛品	433	未払法人税等	1,037
原材料	606	賞与引当金	1,112
仮払消費税等	986	仮受消費税等	1,148
繰延税金資産	156	その他の流動負債	55
その他の流動資産	53		
貸倒引当金	△ 6	固 定 負 債	1,133
固 定 資 産	67,966	退職給付引当金	750
有形固定資産	17,720	繰延税金負債	383
建物	3,669		
構築物	178	負 債 合 計	8,294
機械装置	1,846		
車輛運搬具	84	資 本 の 部	
工具器具備品	650	資 本 金	7,000
土地	11,262	資 本 剰 余 金	3,552
建設仮勘定	28	資本準備金	3,552
無形固定資産	71	利 益 剰 余 金	85,526
投資その他の資産	50,174	利益準備金	753
投資有価証券	48,011	任意積立金	80,694
子会社株式	190	中間未処分利益	4,078
長期預金	1,000	株 式 等 評 価 差 額 金	2,220
長期貸付金	566	自 己 株 式	△ 838
長期未収金	859		
保険積立金	259	資 本 合 計	97,461
保証金	128	負 債 及 び 資 本 合 計	105,755
長期前払費用	19		
貸倒引当金	△ 1		
海外投資損失引当金	△ 858		
資 産 合 計	105,755		

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 19,378百万円

損益計算書

●平成16年1月1日～平成16年6月30日

		百万円	百万円
経常	営業損益の部	営業収益 売上高	20,371
		営業費用 売上原価 販売費及び一般管理費	15,132 3,546
		営業利益	1,692
損益の部	営業外損益の部	営業外収益 受取利息 有価証券利息 受取配当金 仕入割引 その他の営業外収益	14 333 41 160 147
		営業外費用 支払利息 売上割引 その他の営業外費用	5 140 12
		経常利益	2,232
特別損益の部	特別利益 投資有価証券売却益 その他の特別利益	1 12	14
	特別損失 固定資産処分損 その他の特別損失	10 2	12
税引前中間純利益			2,234
法人税、住民税及び事業税			1,119
法人税等調整額			△ 246
中間純利益			1,360
前期繰越利益			2,717
中間未処分利益			4,078

会社の概況

(平成16年6月30日現在)

設立年月日	昭和29年7月1日
資本金	70億円
従業員数	1,163人
事業所	
本社	下関市長府扇町2番1号 〒752-8555 TEL (0832) 48-1111
宇都宮工場	宇都宮市清原工業団地30番 〒321-3231 TEL (028) 667-6111
滋賀工場	滋賀県野洲郡野洲町野洲1473番地1 〒520-2394 TEL (077) 588-4111
営業所	盛岡・仙台・大宮・東京・横浜・ 千葉・名古屋・金沢・大阪・香川・ 岡山・広島・福岡・沖縄

事業内容

- 給湯関連機器 ……石油給湯器、石油風呂釜、ガス給湯器、
ガス風呂釜、電気温水器、
エコキュート、コージェネ
- 空調関連機器 ……ルームエアコン、ファンヒーター、
FF式温風暖房機、温水暖房システム
- システム関連機器 ……システムバス、メロウバス、
システムキッチン
- ソーラー関連機器 ……太陽熱温水器、太陽光発電、
ソーラー床下換気扇
- その他 ……熱機器及び付属品他

役員

代表取締役社長	役員	川上康男
代表取締役専務	役員	島田実
取締役	役員	早川誠一
取締役	役員	柁勇
取締役	役員	梅田忠明
取締役	役員	橋本和洋
常勤監査役	役員	堀真紀
監査役	役員	松重建治
監査役	役員	山元浩

(注)監査役 山元浩氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	毎年12月31日(年1回)
定時株主総会	毎年3月中
利益配当金 受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.chofu.co.jp/ir.htm
名義書換代理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区高麗橋二丁目6番10号 (新高麗橋ビル) 日本証券代行株式会社大阪支店
同取次所	日本証券代行株式会社本・支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式の数	100株(单元未満株式の買取請求は名義書換代理人がお取扱いします。)



株式会社

長府製作所